

科目名 診療の補助技術 I 時間割表記名 診療の補助技術 I	配当時期 2年次前期 単位数 1単位 時間数 30 時間(16 回)	講義担当者 間宮 みどり 後藤広行 寺下 真吾 (実務経験のある教員)	
事前学習内容 演習前には技術の動画を視聴する。テキストと動画を活用しながら、技術の根拠を含めた手順をレポートにまとめる。講義の前には、呼吸・循環・血管・皮膚に関する解剖生理を学習し、レポートにまとめる。			
授業目標 1. 与薬、輸血、創処置における看護の役割を理解し、実施する基本的な援助技術を実践できる。 2. 診療・治療・看護で使用される医療用機器の原理を理解し、その取扱い方法と留意点が理解できる。			
DPとの関連 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	与薬の技術 1)与薬の基礎知識 (1)薬物の基本的性質(与薬方法、薬物動態) (2)看護師の役割 2)援助のための基礎的知識 (1)経口与薬・口腔内与薬 (2)吸入 (3)点眼・点鼻 (4)経皮的与薬 (5)直腸内与薬	講義	テキスト①③⑤ 資料
2 3	注射の基礎知識 1)注射方法の種類と概要 2)注射筒と注射針 3)実施上の責任	講義	テキスト①③⑤ 資料 *3 回目 45 分
4 5	与薬の援助の実際 【経口与薬・吸入・点眼・経皮与薬・直腸内与薬】	演習(技術) グループ学習	テキスト①③⑤ 資料
6 7	注射の実際 1)筋肉内および皮下注射に必要な物品の取り扱い 2)筋肉内注射の方法(三角筋、中殿筋) 3)皮下注射の方法 【シミュレーターを使用しての筋肉内注射、皮下注射】	演習(技術) グループ学習	テキスト①③⑤ 資料
8 9	点滴静脈内注射の実際 1)点滴静脈内注射に必要な物品の取り扱い 2)翼状針による点滴静脈内注射 (1)針の固定 (2)滴下速度の調節	演習(技術) グループ学習	テキスト①③⑤ 資料

	【シミュレーターを使用する際の点滴静脈内注射】		
10	医療機器の原理 1)医療機器とは 2)医療機器を使用するための基礎知識 (1)医療機器における医療者の役割 (看護師、臨床工学士、安全管理責任者) (2)電気設備 (3)医療用ガス設備 3)医療機器の種類 (1)検査のための医療機器 ①心電図モニター・血圧計 ②パルスオキシメーター	講義	テキスト② 資料
11	医療機器の取り扱いの実際① 【心電図モニター・パルスオキシメーター・12誘導心電図】	演習(技術)	テキスト② 資料
12	医療機器の取り扱いの実際② 【輸液ポンプ・シリンジポンプ】	演習(技術)	テキスト② 資料
13	輸血時の意義と看護師の役割 1)輸血の基礎知識 (1)目的 (2)種類 (3)副作用 2)輸血の援助と方法 (1)患者への説明と同意 (2)実施方法	講義	テキスト①③⑤ 資料
14	創傷管理 1)創傷とその治癒過程 2)創傷治癒のための環境づくり 創傷処置 1)創洗浄と保護【創洗浄と創保護の手順】 2)包帯法(目的・種類・方法)【包帯法】	講義 演習	テキスト①③④ 資料
15	技術試験(筋肉注射)	試験(技術)	
16	筆記試験(45分)	試験(筆記)	
<p>受講上の注意</p> <p>○解剖生理学、看護機能形態学、基礎看護技術論、日常生活援助技術Ⅲ、臨床薬理学の学習を活用しながら学ぶため、復習をしておく。</p> <p>○各自、技術が習得できるよう練習を行う。ただし、針を使用するときは、教員の見守りの下、練習を行う。</p>			<p>評価方法</p> <p>技術試験 筆記試験 レポート</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>①系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 医学書院</p> <p>②系統看護学講座 専門分野 臨床看護総論</p>			

③看護技術プラクティス 学研

④看護がみえる vol.1 基礎看護技術 メディックメディア

⑤看護がみえる vol.2 臨床看護技術 メディックメディア

参考文献

①オールカラービジュアル 基礎看護技術ガイド, 照林社

②根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院